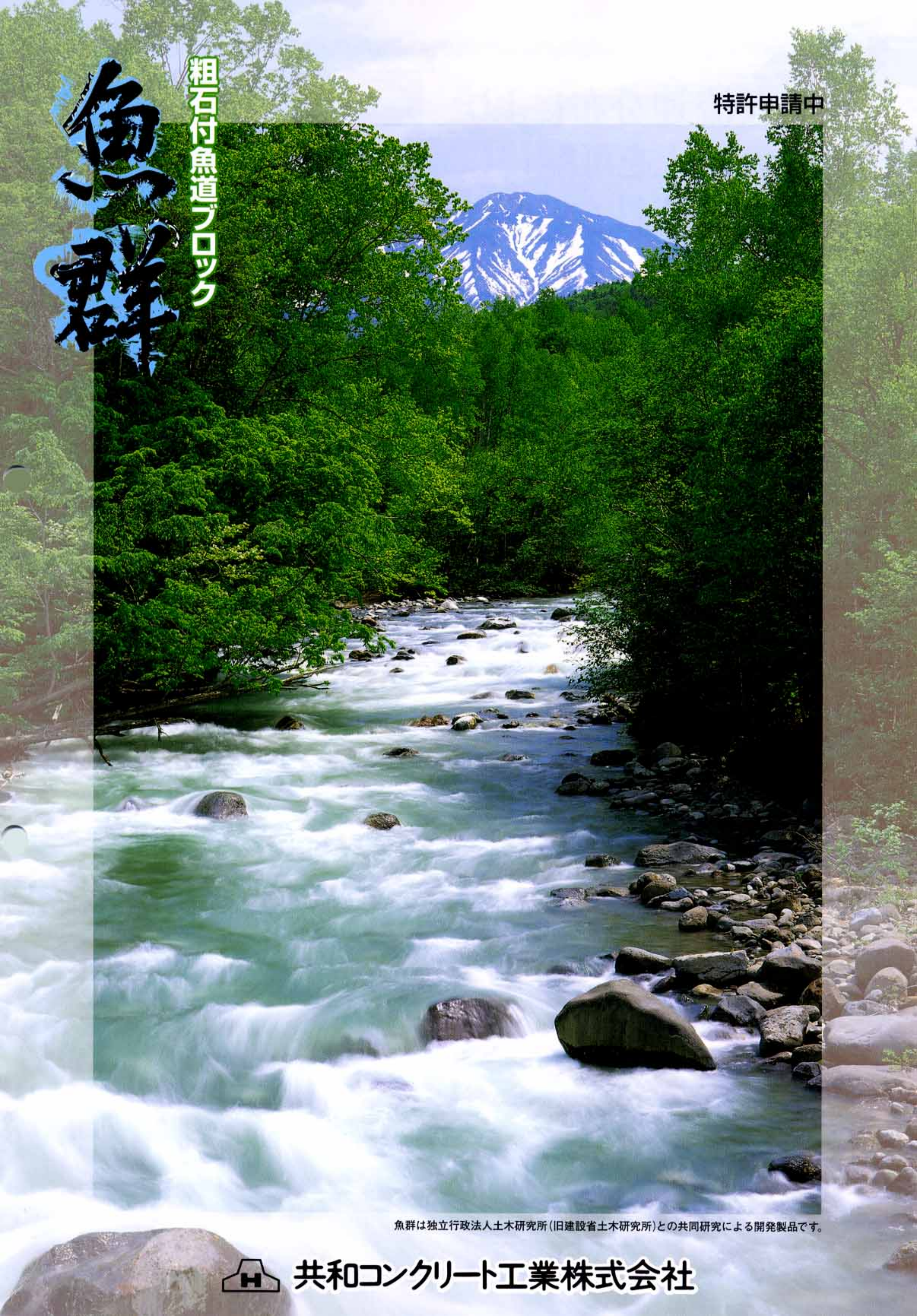

魚群
粗石付魚道ブロック
特許申請中
魚群は独立行政法人土木研究所（旧建設省土木研究所）との共同研究による開発製品です。
共和コンクリート工業株式会社

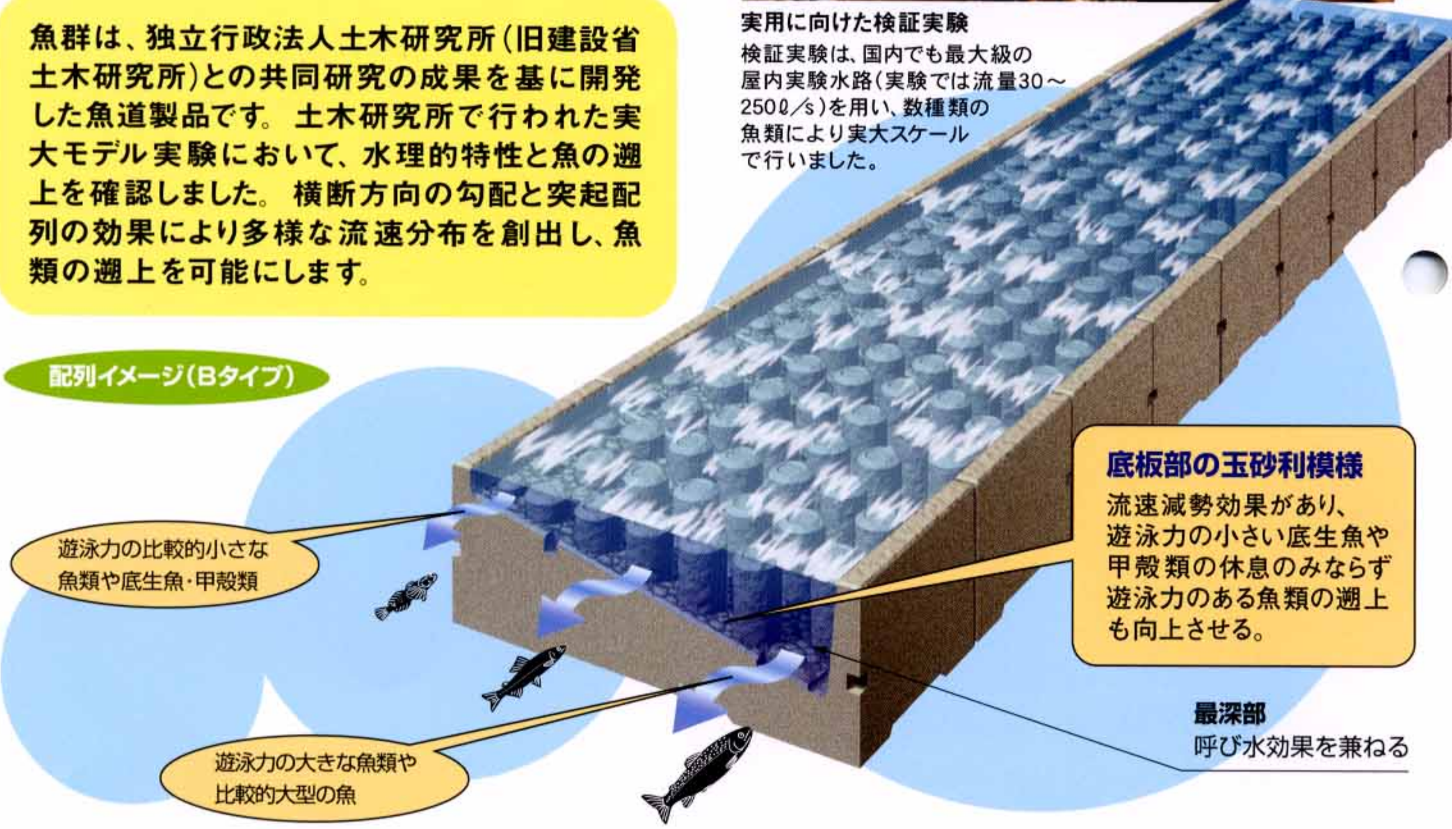
多様な流速分布により魚類の遡上を可能にし、河川の連続性を確保します。

実用に向けた検証実験

検証実験は、国内でも最大級の屋内実験水路（実験では流量30～250ℓ/s）を用い、数種類の魚類により実大スケールで行いました。

魚群は、独立行政法人土木研究所（旧建設省土木研究所）との共同研究の成果を基に開発した魚道製品です。土木研究所で行われた実大モデル実験において、水理的特性と魚の遡上を確認しました。横断方向の勾配と突起配列の効果により多様な流速分布を創出し、魚類の遡上を可能にします。

配列イメージ（Bタイプ）



特長

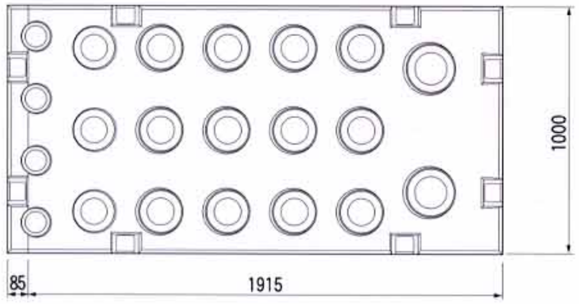
- 横断方向に勾配を設けることにより、流量減少時にも最深部に水が流れ、遡上経路を確保します。
- 横断方向の水深は0～40cm（標準水深）であり、大型魚から小型魚まで遡上が期待できます。
- 横断方向に多様な流速分布があり、魚種に応じて遡上が可能です。
- 円柱形の突起を採用したため、流量減少時にも遡上可能な幅を確保することができます。
- 魚群の最深部は十分な呼び水効果が期待できます。
- 遡上実験において、アユカケ・ヨシノボリ・アユの稚魚等の良好な遡上が確認されています。
- 底板部は玉砂利模様とし、流速減勢効果をもたせています。

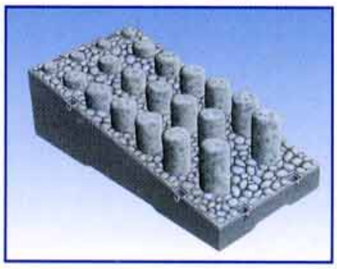
規格諸元

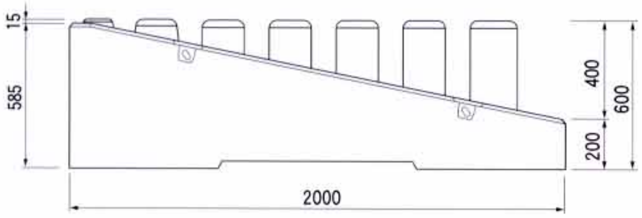
呼び名	主要寸法(mm)	体積(m^3)	参考質量(kg)
Aタイプ	2000×600×1000	0.8313	1912
Bタイプ	2360×700×1000	1.0687	2458

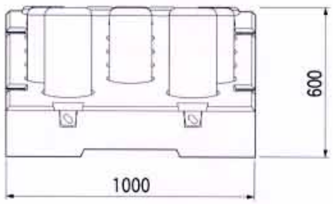
Aタイプ

■ 規格寸法図





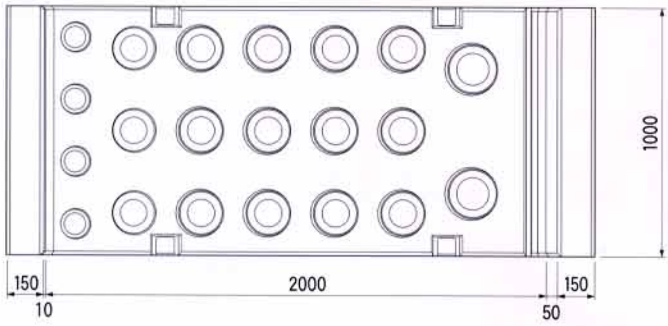


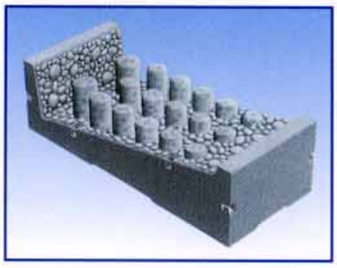


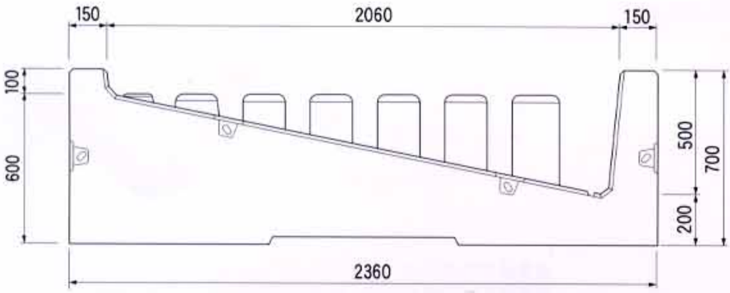
底板は玉砂利模様となります。

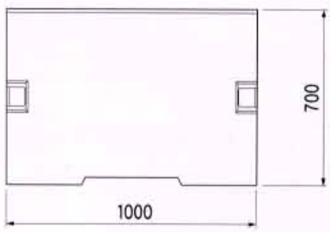
Bタイプ

■ 規格寸法図





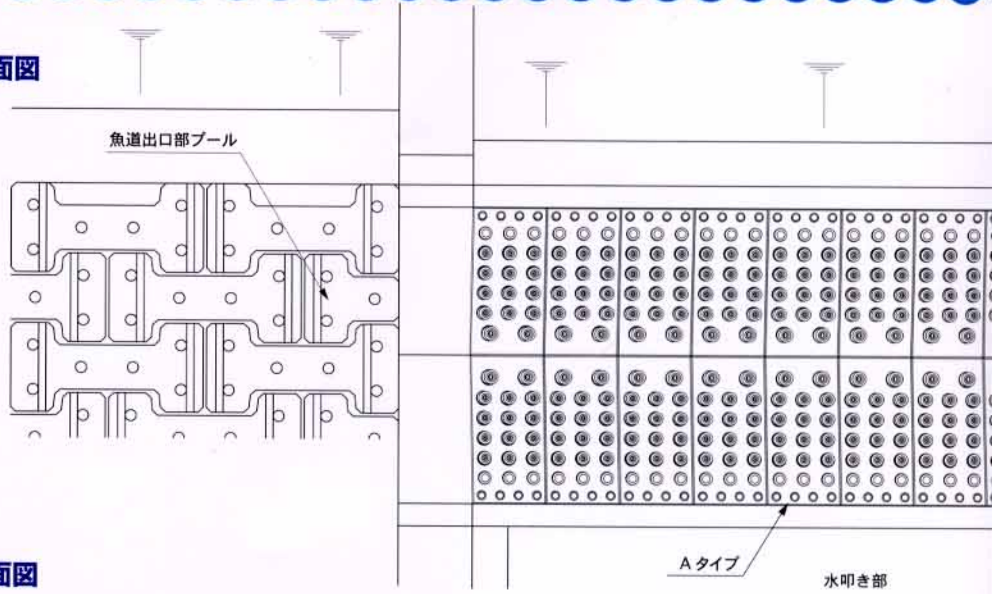




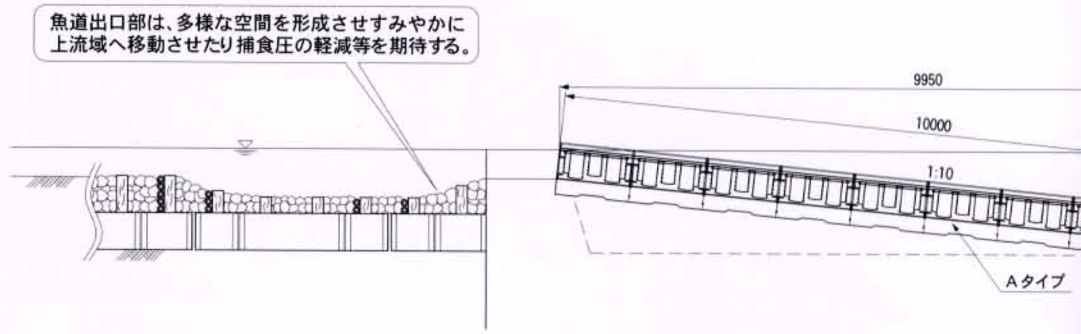
底板は玉砂利模様となります。

敷設例 Aタイプ

■平面図

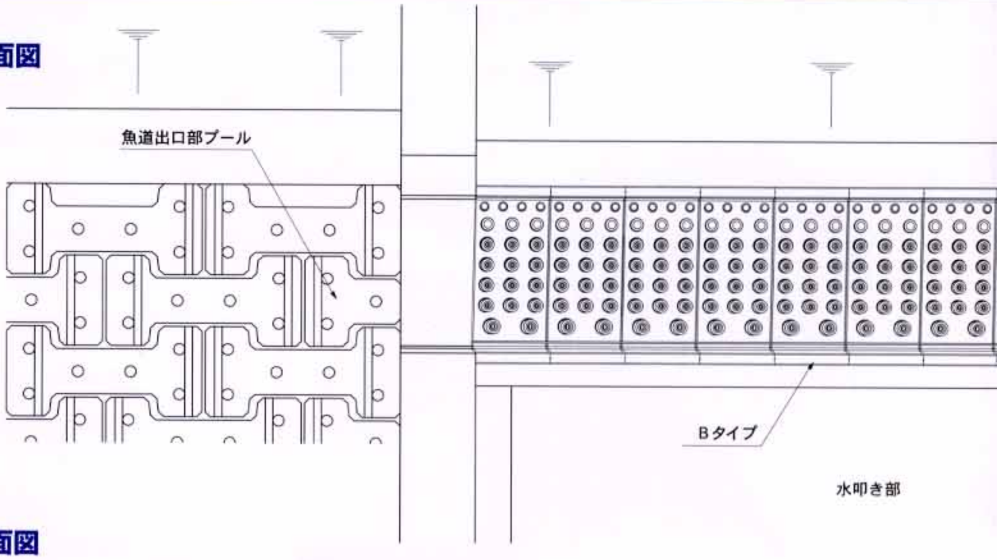


■断面図

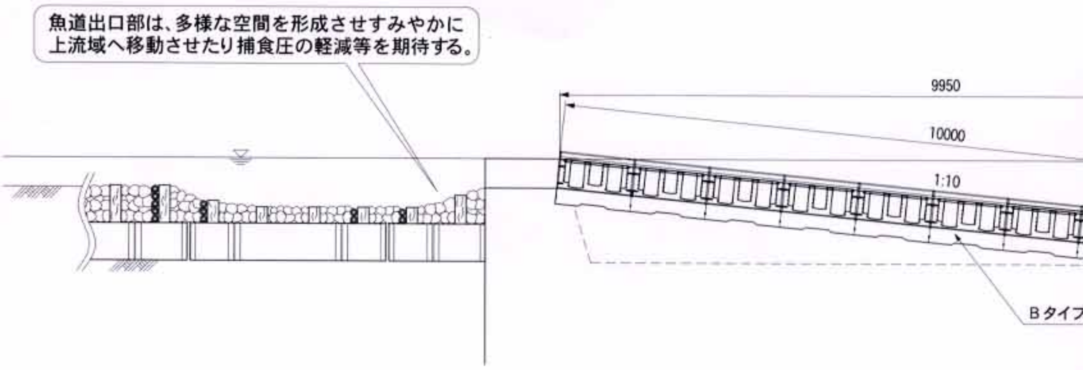


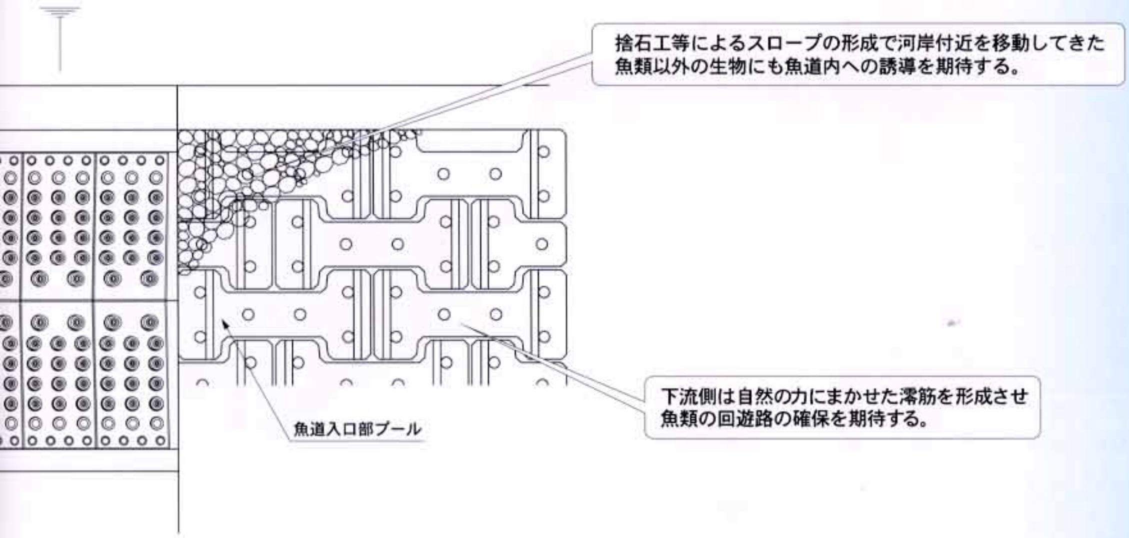
敷設例 Bタイプ

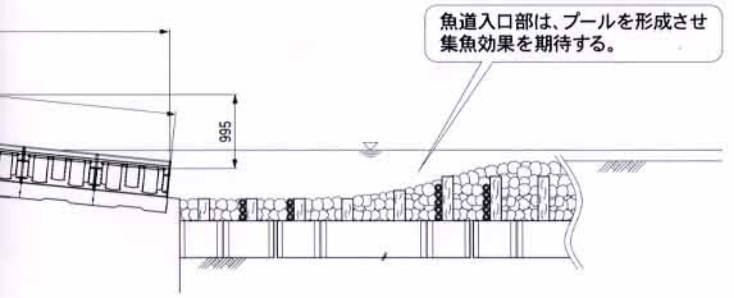
■平面図

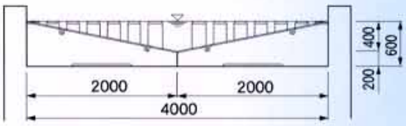


■断面図

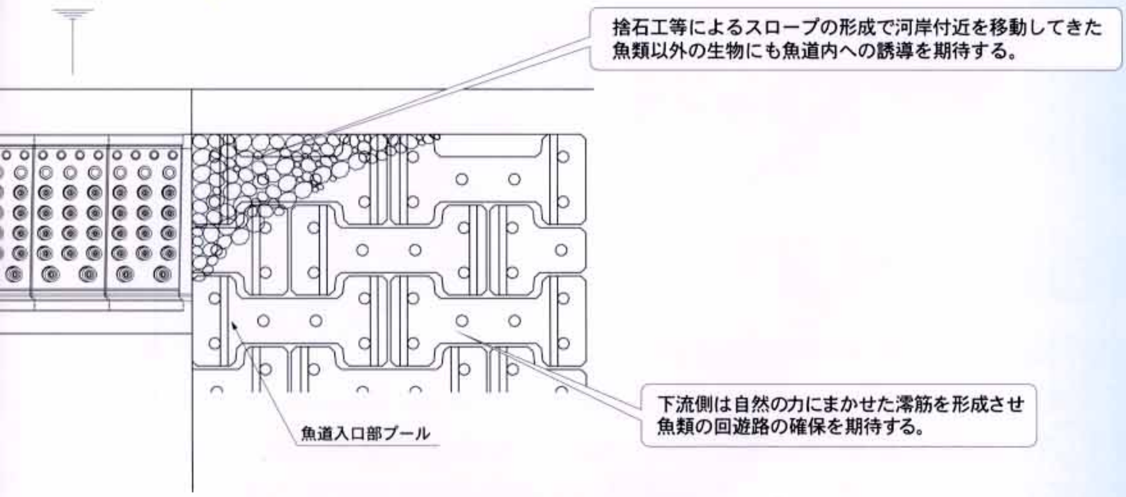


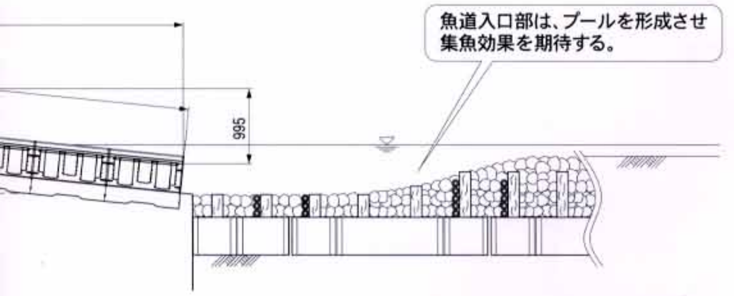


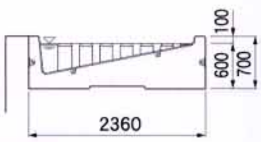




※魚道内の水深は、突起天端までを標準とします。
※護床工等の取合いは、現場条件に合わせた検討が必要となります。







※魚道内の水深は、突起天端までを標準とします。
※護床工等の取合いは、現場条件に合わせた検討が必要となります。